

# 2018日中青少年スポーツ団員交流報告書

**主 催：公益財団法人日本スポーツ協会  
日本スポーツ少年団**

**受入団体：中華全国体育総会**

**期 日：H30年8月5日(日)～11日(土)**

**派 遣 先：中国湖北省 武漢市・仙桃市・宜昌市**



**派遣対象 九州・中国ブロックスポーツ少年団**

# 2018日中青少年スポーツ団員交流報告書

期 日 : 平成30年8月4日(土)  
場 所 : リファレイン博多近代ビル  
『福岡県団事前研修及び結団式』

大雨のため延期されていた福岡県の参加者に対する事前研修及び参加者全員を対象とした結団式が行われました。

明日からの中国研修に参加団員達も期待度マックスです。  
島根県から参加した西村亮圭君が素晴らしい決意表明を行いました。



期 日 : 平成30年8月5日(日)  
場 所 : モンタン博多ホテル～福岡空港～上海空港～武漢空港～華中師範  
大学ホテル  
『移動日』

博多駅近くのモンタン博多ホテルで前泊した後は、早朝7時に出発して、福岡空港に向かいます。団員も役割分担どおり手分けして荷物を運んでいます。

国際線ロビーでは福岡県団の保護者の皆さんにも見送られ、いよいよ中国に向けて出発です。





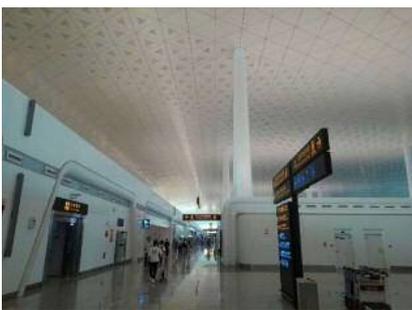
### 『長江（揚子江）半端ないって！』

飛行機の窓からは、長江（揚子江）見えます。河口付近には大きな島が見えます。また、数千隻もの船が行き来しています。上空から見渡しても対岸が見えません。さすが世界第三位の川です。

上海空港はとにかく大きな空港です。国際線から国内線への乗り換えも、案内がいなければ迷ってしまいそうです。



武漢空港に到着しました。とてもきれいで大きい空港です。到着ロビーには、武漢市の団員32人が出迎えをしてくれました。熱烈歓迎です。



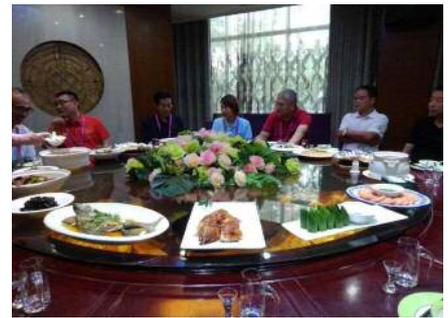
## 『武漢半端ないって！』

武漢空港から貸し切りバスで約90分かけて、華中師範大学へ移動します。  
車窓から見えてきたのは、おびただしい数の高層ビル群でした。大半が30階以上の建物で、高層マンションが大変多く建てられています。その2割が建設中のように感じます。  
武漢の人口は、1,080万人で毎年15万人前後増え続けています。  
正に「武漢半端ないって！」中国の経済発展のスピードと規模の大きさに脱帽です。



## 『中華師範大学ホテルに到着！歓迎晩さん会で中華料理を堪能！』

華中師範大学は、中国の教師を養成する大学で名門校です。大学が運営するホテルに泊まります。  
ホテルに到着するとさっそく夕食です。初日から熱烈歓迎です。  
受け入れして下さる、武漢体育局の方々との夕食会で美味しい食事をご馳走になりました。湖北省の特産品を使った料理を日本人の好みに合うようアレンジしていただき美味しく料理をいただきました。  
団員達は中国の学生たちと食事をしてとても打ち解けていました。  
明日の歓迎レセプションが楽しみです。



期 日 : 平成30年8月6日(月)

場 所 : 華中師範大学ホテル 湖北省博物館

『日中交流説明会に出席』

『リアル・キングダム 湖北省博物館に行って来ました!』

『歓迎レセプションに大感激!』

『日中交流説明会に出席!』

6日間の中国湖北省での交流研修の説明会が開催され、受け入れ団体よりご挨拶と交流研修の説明がありました。

記念撮影が終わると、早速団員同士また、通訳ボランティアの方々と会話が弾んでいます。



昼食もおご馳走を振る舞って頂きました。

「文化を知るには料理から!」の言葉のとおり、湖北省の名物料理の食材の調達先や料理の仕方も説明していただきました。

正に湖北省の文化を食事を通して知ることができました。

昼からは、文化をもっと知るために、湖北省博物館に行つて来ます。



## 『リアルキングダム！湖北省博物館』

文化交流の一環で、湖北省博物館に行ってきました。  
中国三千年の歴史を見てきました。武漢は春秋戦国時代には「楚」が支配していた地域です。その時代の武器や鎧も展示されていて、リアル・キングダムを見学してきました。  
また、古代中国の楽器(曾侯乙墓から出土した編鐘という楽器)を使った演奏や、舞踊も披露していただき悠久の歴史を感じることができました。



## 『熱烈歓迎のレセプションに大感激！』

受け入れ団体の皆様の熱い歓迎の中でレセプションが開かれました。  
湖北省の共産党のトップ(日本でいうと県知事)も来られ国賓並みの歓迎を受けました。  
最後は団体同士のプレゼント交換。中国の団員達は志向を凝らした素敵なプレゼントを準備してくれていて、日本の団員達みんな大感激でした。  
来年は福岡県が受け入れするとの発表もあり、びっくり仰天です。宇美町でも受け入れやらないといけないみたいです。今回参加した団員達が頑張ってくれそうです。



期 日 : 平成30年8月7日(火)  
場 所 : 仙桃市スポーツセンター  
『武漢市・仙桃市の団員とのバドミントン交流会』  
『仙桃市スポーツセンター視察研修』

『ついにバドミントン交流が始まりました！』

ついにスポーツ交流が始まりました。  
日本から6人を選抜して武漢市の団員との合同チームを作って、仙桃市チームとの対戦です。  
みんなとても頑張っていました。  
選抜チーム以外の団員も広々としたバドミントンセンターで、バドミントンを思い切り楽しみながら中国の団員達と交流を深めていました。



『仙桃市スポーツセンター見学』

仙桃市が運営しているスポーツセンターはとにかく立派です。  
野外プールや室内プールをはじめ、15種類ほどの競技種目ごとに専用施設が完備されています。  
バドミントンでは専用コートが23面常設されています。ビリヤード場やトレーニングジムもすごく立派です。  
トランポリン上では実際に体験させてもらいました。団員達のテンションはマックス状態になり、とても楽しく体験させていただきました。



期 日 : 平成30年8月8日(水)

場 所 : 仙桃市スポーツセンター

『武漢市・仙桃市の団員とのバスケットボール交流会』  
『仙桃ゴルフ場にてゴルフ体験』

『ドームでバスケットボール交流やりました』

午前中はガチのバスケットボール交流を行いました。  
この施設はバスケットボールのコートが3面取れるドームで、空気圧だけで天井を支えています。  
エアコンも効いていて快適にゲームを楽しめました。  
最初に女子が武漢市との対戦です。  
みんなハッスルして見事勝つことができました。  
男子は武道をやっている団員が多く、バスケットボールはちょっと苦手だったのか、勝利することはできませんでしたが、みんなとても楽しそうに交流しました。



『高級リゾートでゴルフ体験しちゃいました』

仙桃市の田園地帯に突如現れた超高級なゴルフ場に連れて行ってもらい、ゴルフ体験をさせていただきました。

とっても綺麗なゴルフ場で、経営者曰く中国でも一二を争うくらい的高级クラブだそうです。

もしかしてコースを回らせてくれるのかなと思ったら、さすがに打ちっぱなしでしたが、みんな初体験のゴルフに大喜びでした。





期 日 : 平成30年8月9日(木)  
場 所 : 宜昌市 三峡の滝  
『三峡の大瀑布散策』

### 『三峡の滝に打たれて来ました!』

中国の十大瀑布の一つに数えられている、三峡の滝へハイキングに行ってきました。  
水量はそこまで多くはないのですが、約100メートルの落差と、その景観が素晴らしく、また滝の裏側を通れることで、有名な観光地になっています。  
使い捨ての雨がっぱを着用していましたが、全然役に立たないくらいの凄さでした。



期 日 : 平成30年8月10日(金)

場 所 : 宜昌市 三峡ダム 武漢市 華中師範大学ホテル  
『三峡ダム見学』 『歓送夕食会』

### 『揚子江をせき止めた三峡ダムに行ってきました!』

最終日は、揚子江の中流域にある世界最大級のダム、三峡ダムに行ってきました。湖北省の観光地としても有名になり、沢山の観光客が訪れていました。それにしても、でかいこと、でかいこと。高さ189メートル、幅2,309メートルもあります。三峡ダムは、14年の歳月をかけて作られ(総工費約1兆8000億円、貯水池は全長600キロ)、発電量が世界最大の水力発電所です。普通の原発や火力発電所だと16基分の発電量で、中国の全発電量の2%を占めているそうです。それにしても、よく長江(揚子江)をせき止めようと考えたものです。中国人が誇るのも解ります。



### 『感動のさようならセレプション』

日中青少年スポーツ団員交流も、いよいよ最終プログラムの送別会です。三峡から6時間かけて武漢市に戻り、華中師範大学ホテルで送別会が開かれました。団長の挨拶の後には、日本団を代表して谷崎君が素晴らしい感想を発表してくれました。指導者の方々にもほめていただきました。橋本君と麻生君の空手の型披露も何とか無事に終わり一安心です。来年は福岡県が受け入れします。宇美町でも受け入れを行うことになりそうです。人口1,080万人の武漢市と37,000人の宇美町とでは、だいぶ差がありますが、最高の受け入れをする自信はあります。今回参加した団員達がきっと頑張ってくれると思います。





期 日 : 平成30年8月11日(土)

場 所 : 武漢市→武漢空港→上海空港→福岡空港

『帰路』

### 『さようなら中国・さようなら武漢市・さようなら揚子江』

6時00分にホテルを出発し、いよいよ帰国の途に就きました。

湖北省には0.1km<sup>2</sup>以上の湖が958個存在することから、「千湖の省」とも呼ばれています。武漢市も25%を湖が占めています。

朝日が湖に映えていて、大変美しい光景が私たちを見送ってくれました。

長江(揚子江)にもさようならです。

長江はアマゾン川、ナイル川に次ぐ世界第三位の大河です。中流域の武漢市でも関門海峡より広い川に何本も橋がかかっています。

岸边には高層ビルが立ち並んでいます。また、何百隻もの船が往来しています。

上海空港を飛び立つと、すぐに長江にさしかかりますが、飛行機の上からでも対岸が見えません。

この壮大な光景にもさようならです。

武漢空港は昨年末に増築されました。これがまた、とんでもない大きさです。

何もかもに圧倒された中国研修でした。

そして、無事に福岡空港に帰り着くことができました。

